

# ゆきの灯り

第35号

令和2(2020)年  
1月発行  
油木協働支援センター  
TEL 82-0701  
FAX 82-2228



## 明けまして おめでとう ございます

油木協働支援センター長  
赤木 健二

令和の御代初めての新流や関係人口の拡大な  
年を迎え、謹んで新年の  
お慶びを申し上げます。からも続けていきま  
さて、昨年オープンす

した「にしかわ」の利用も 各地の神儀の収録保  
順調に増加に推移しなが 存は、昨年の西道のお  
ら、住民の方々のふれあ 祭りに邪魔して、試  
いの場、憩いの場として、 験的に動画撮影をし  
また各種団体の会合や高 したが、今年からは本  
校生も大勢来館するな 格的に動くつもりで  
ど、日に日に活気を帯び ます。各地域に出向き  
て来ています。利用者は ですので協力を願  
オープン以来10ヶ月で します。  
延べ2千人を超えてい ます。こんなことがし  
ます。利用団体も70団 体。これはこうした方  
となつています。今後 も が良いのでは等、ど  
皆様の「ご利用」活用を よ どもご意見をお寄せ  
ろしく願います。 ださい。

地区内では、農業の担  
い手不足と鳥獣による被  
害増加で、荒廃農地が  
年々増加しています。こ  
れらの対策を新たなチ  
ムで検討を始めたとい  
考えています。  
そのほか、都市との交



### にしかわだより

#### 「新年のご挨拶」

2020年・令和2年、作業が行われています。活  
明けましておめでとうご 用の一つとして、地域の方  
ざいます。清々しい年明け にも魅力を知っていただ  
となりました。

「化石魅力化の集い」を定 期開催しています。  
集いの場「にしかわ」は 今年もみな様のお出でを  
お待ちしております。

昨年2月6日、油木地 域の活性化をめざし空き  
家となっていた旧西川酒 店を改装し、誰もが利用で  
きる場所としてオープン しました。

近所の方が散歩の途中 に寄られ、お茶を飲み休  
で行かれます。体育館等 運動や体操をした後、グ  
ープで集まり楽しく話を されます。高校生がバス  
待ちや寮に帰る前、試験期 間中に、休み勉強する場  
として訪れています。

団体の利用では仲間と 活動される文化サークル  
や町づくりを進める委員 会、振興会、地域で活動さ  
れる団体等が会議や研修・ 交流に使用しました。

「にしかわ」には故西川 功さんの数千点の化石標  
本が遺されており、この保 存と活用のために地域お  
こし協力隊員が配置され

「化石魅力化の集い」を定 期開催しています。

また、地域の方と運営委 員会を設け、「にしかわ」

の魅力を高めるアイテア ーや会合・研修の場とし  
て利用。1階キッチンで は調理も可能です。定期開  
館時間外にも、申請により 貸切り利用がされています。  
皆さんの活用目的も少 ずつ多様になってきま  
した。今年も利用の仕方が 増え、「にしかわ」の魅力  
が高まっていく事を期待 しています。

「こんなことがしたいか」  
「こんなことができるか」  
皆さんで話し合い、活動 し、「にしかわ」を拠点と  
した地域の活性化を進め ています。

（分室長 松岡 純夫）

## 初日の出

### 地域から迎春の便り

新年明けまして、おめでとうございます。  
本年最初の初日は、各地で多くの人に迎  
えられたことと思います。仙養ヶ原では、  
初日を拝む会や地域の人たちが、暗いうち  
から仙養ヶ原に上り、初日の出を待ちまし  
た。冷気が張り付いたような仙養ヶ原の上  
空は、劇場のスクリーンを思わせる広がり  
がだんだんと明るさを増してきました。南  
の空には雲が薄く伸び、稜線との間は少し  
ばかり赤く染まってきています。その赤み  
が増して来る度に、静かに、ご来光の瞬間  
を待ちました。みんなが息を凝らして見  
つめる中、黄金に光る円が空にかかり輝  
く初日がその姿を見せました。

初日を拝む会では、地域のひとと一緒に初  
日を拝まれ、2020年の今年は50回目  
という記念の年になりました。本年は、令  
和最初の初日となり、一心に見つめる私た  
ちに、新年への、大いなる希望を抱かせて  
くれました。

皆様の本年のご活躍とご多幸をお祈りい  
たします。  
（仙養ヶ原初日を拝む会）



東油木自治振興会

### 「豆腐作り&餅つき交流会」

のお誘い

日時：令和2年2月2日(日)  
場所：東幸館（油木乙1414-2）  
参加費：大人2,000円・小学生500円  
※お餅のお土産付き（大人のみ）  
毎年恒例、豆腐とお餅をみんなで  
作る交流会。今年もやります！  
町外はもちろん、地元以外の町民  
の方も大歓迎♪大人数で美味しい  
ものを作って楽しみましょう。

お問い合わせ・お申し込み  
0847-82-0856(赤木)



### 地域のお知らせ



### しんさか「辛うてごめん」 総収量がまとまりました。

昨年6月20日に支援 たものです。昨年度一年  
事業として行なわれた、 間で部会員による検証  
源流の里しんさかの唐 がなされ、本年度は地区  
辛子苗の頒布のその後 民の協力を広く呼びか  
をご報告します。

今後、この活動が定着 するかは引き続き検証  
が必要ですが、徐々に発 展していく事を期待し  
ています。

生産用苗頒布数 465 株  
出荷者 9 人  
（自家苗1人を含む）

総収量 約497 kg  
頒布苗の栽培者 収量 約195 kg

この取り組みは平成 30年度の「わくわく農業  
チャレンジジャー（農業振 興・特産品開発事業）部  
会」にて加工品開発推進 の一環として検討され



パッケージもリニューアル した「辛うてごめん」

ゆきキッズクラブ

手ごわいけど  
楽しいそば打ち

12月7日そば打ち体験教室を行いました。

油木そば打ち同好会の皆さんが、そば粉をこねるところから切る所まで丁寧に指導してくださいました。

みんなですで打ったそばを、冷たいそばと温かいそばの両方で食べました。

キッズからは「手でこねるのが、硬かったけど面白かった」「切るのが特に楽しかった」「去年よりうまくできた」などの感想がありました。



よいしょーよいしょー！



先生と一緒にそばを切る

大人の教室

講師に前原孝史さんを迎えて、12月16日と23日に今年度新しくそば打ち体験教室を開催しました。年越しそばを手打ちしてみようという教室です。最初に講師がひと通り打つのを見ました。その後講師に教わりながらそば打ちを体験しました。

そば打ちは、手順が多く一度で習得するのは困難です。急ぎよ連続講座になりました。回数を重ねることが必要です。1回目も2回目もそば打ちの後に、講師の前原さんが打ったそばを試食しました。



まず講師のそば打ちを見る

美味しいそばを食べながらの皆さんの感想は、「そば打ちは難しい」「道具を揃えて練習しなければ」などでした。

こねてのばして切って茹でて食べよう！

一人一人の  
デコレーション

12月14日の料理教室は、36名のキッズが参加し、クリスマスケーキを作りました。

生地を紙製のカップに入れて焼き、生クリームやイチゴ、トッピングシユガーを使って上手にデコレーションしていました。料理教室はキッズも多く集まり一つの班が9名になりました。高学年が低学年を見守りながら順番に作業をしていました。

可愛く  
できました！



生クリームでデコレーション♪

「ゆきなび」専門部会  
伝統文化継承事業チーム

12月17日「ししかわ」においてチームの初会議を行いました。

自治振興会などにも声かけをし、皆で5名の方に集まっていたいただきました。実際に本格的な撮影・編集をする来年度に向けて、撮影する地域とその日程・機器の調整や経費などについて話し合いました。

実際に本格的な撮影・編集をする来年度に向けて、撮影する地域とその日程・機器の調整や経費などについて話し合いました。調整をすることに決まっています。



神儀のどの部分を保存するか、収録方法の細かい気づきなど多数の意見ができました。来年度6月中に撮影します。



「化石魅力化の集い」外に飛び出してフィールドワークを行いました。

昨年11月30日、落ち葉の舞い散る中、油木地区内の地層を見に行くフィールドワークに出佐・宗兼周辺で行いました。今回の集いは「ゆきキッズクラブ」と合同開催としたため、大人と子どもを併せ、20名を超える参加者となりました。案内をするのは、お馴染み！地域おこし協力隊の尾森尊武さん。



まずは豊松との境、毘沙門洞窟周辺へ。吉光橋でバスを降り、徒歩で目的地へ向かう最中も礫(れき)岩や泥(でい)岩、古い地層を見ながら学習していきます。尾森さんの説明は分かりやすく、大人の皆さんは興味津々。子供たちにはちょっと難しかったかな。それでも実



験となると身を乗り出して聞いていました。続いて宗兼の備北層群へ。地域特有の地層を見学し、最後は「ししかわ」の化石展示室に戻って無事解散となりました。

お邪魔してきました！

豊松「昭和のおもちゃ館・昭和の資料館」オープン

豊松地区に12月15日(日)、新たに「昭和のおもちゃ館・資料館」が開館しましたので、見学に伺いました。

この施設は豊松協働支援センターの活動と



開館記念のテープカット

おもちゃや教材がずらり並び館内



して四日市の豊松プラザ21の中に作られました。昨年、同センターが開所した立ち寄り処「ちよっと寄りんさい」に続き、2施設目のオープンです。お聞きした所、これでプラザに近年できていた空室は全て解消したそうです。地区の中心部となる四日市に賑わいが戻る事をとても大切にされているのだと思います。

ている部屋の方には大正から昭和にかけての学校教育の資料や教材が展示され、館内でもちや館と繋がっています。

油木地区でも西川功さんの遺された化石標本を資源として生かす活動が進んでいます。豊松地区の取り組みを今後参考にさせていただきますね。

(事務局長 松井二葉)

昭和のおもちゃ・資料館

開館日：火・木・土曜日

開館時間：10時～16時

入館料：300円

お問い合わせ

豊松協働支援センター

84-22226